

事業所名	発達障害支援センターPAL（放課後等デイサービス事業）
------	-----------------------------

公表日 令和7年3月28日

利用児童数

25

回収数

22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	95.2%	4.8%	0%	0%	今後も、子どもたちが楽しくのびのびと活動できるスペース作りを続けていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%	法で定められている人員配置基準を満たしています。今後も、職員の専門性の向上に努めていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	95.2%	4.8%	0%	0%	今後も、子どもたちが安心して見通しをもって活動できるための環境調整を行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	今後も、子どもたちの安全、健康を第一に考え、環境整備に取り組んでいます。また、ヒヤリハット報告書を活用しながら、職員全体でリスク管理に取り組んでいきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	95.2%	4.8%	0%	0%	幼稚園、低学年の時は純粋にPALが楽しい！と通ってたが、高学年になると本人の成長に伴い、プログラムの目的、質問への疑問を出してくる等、個々の特性への対応が改めて難しいと感じた。職員もそこに対して懸命に取り組んでいたが、本当に難しい！と思った。	子ども一人ひとりの発達の段階、特性、ニーズに合わせた根拠のある支援が提供できるように、職員のスキル向上に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	今後も、支援プログラムを基本とし、個々の子どもの支援目標、支援内容を考えた上で、療育を行っています。また、支援プログラムの情報が確実に伝わるように、公表方法を検討します。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	保護者と子どものニーズや課題を適切にアセスメントし、一人ひとりに合わせた放課後等デイサービス計画の作成に努めています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	95.2%	0%	0%	4.8%	アセスメント結果を基にして、子どもの発達の様子や状況に合わせた実行可能な目標になっているか、保護者と共に確認しながら放課後等デイサービス計画を作成していきます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	放課後等デイサービス計画に沿った療育が提供できているか、内容や進捗について、児童発達支援管理責任者を中心に適宜確認、見直しをしていきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95.2%	4.8%	0%	0%	毎回あの手この手とこどもにマッチするプログラムを考えてもらえた。ありがとうございました。	療育プログラムについては、一人ひとりに合わせて立案しておりますが、保護者や子どものニーズにそって、適宜見直ししながら、より子どもに合ったプログラムが提供できるように努めていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	33.3%	28.6%	28.6%	9.5%	・感染症の問題もあるので他児との関わりはないが、個別でも楽しく通っている。 ・PALの場で地域の子と交流することが必要なのか？と問われたら、特に必要ないと思ってしまう保護者がいる。 ・11月頃に行われたレビラのイベントを、PAL利用の保護者に対して、もう少し大きく宣伝しても良かった。尚、小学校にはチラシが配布されていたので、レビラとしては機会を設けたと思うが、PAL利用者に対してもう少しアナウンスしても良かったと思う。	・子ども一人ひとりに合わせた個別療育を基本としているため、現在、放課後児童クラブ等との交流は行っていません。 ・子どもの地域生活が広がるための余暇の楽しみ方やイベントの機会等について、積極的に情報提供をしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	今後も、保護者に対する丁寧な説明を心掛けていきます。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	今後も、保護者に対する丁寧な説明を心掛けていきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・保護者研修が将来を見越しての内容でかなり勉強になった。三年以上前の保護者研修では、低年齢向けの内容中心だったので、当時はそれでよかったが、今は子どもが成長していることもあり、将来のことがわからなくて不安になっていたところ、今回の研修は私のニーズにマッチしており、かなり助かり勉強になった。今PALに通っている低学年の保護者の方にもおすすめです。 ・保護者の取り組みの発表が、ノルマじゃなくなったのもPALを利用する保護者からすると良かったと思うが、発表時、三年以上前のように、もう少し個々の背景を掘り下げて良かったのかな、とも思った。ただ時代の変化もあるのでプライバシー保護の件から考えると難しいのかなとも思う。	今後も、保護者がライフステージに合わせた子どもへの適切な関わりができることを目指して、年間計画に基づき、保護者研修や少人数でのグループワークを実施していきます。また、研修会の情報提供も積極的に行っていきます。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	95.2%	4.8%	0%	0%	先生に日常生活をお伝えして、明確なアドバイスしてくれる。	今後も、積極的に保護者とコミュニケーションしながら、共通理解を持てるよう取り組んでいきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95.2%	4.8%	0%	0%		今後も、保護者同伴の療育場面や、定期的な面談（年度初め、中間、終了時）等を通して、保護者との情報共有や相談助言を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	PALの先生方の言葉にいつも救われている。	職員一人ひとりが、保護者に共感的に寄り添う姿勢をもち、信頼関係の構築につとめます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	85.7%	9.5%	0%	4.8%	・保護者研修の交流や意見交換がもう少し時間があると良いが、時間確保もなかなか難しいのかな？とも思う。 ・「困りごと」へのアドバイスがもらえたり、本当に良かったので、もう少しこの時間があると良いのと思う。 ・学校では、支援級の同級生も少なく、なかなか保護者との交流の機会が無いのですが、PALに来ると同じ悩みの保護者の方にはるので助かった。	事業所として保護者会等は設けておりませんが、保護者研修の中で、保護者同士が少人数で情報交換や意見交換ができる場を設けております。また、地域で参加できる保護者会等の情報提供を行っています。きょうだい同士の交流については今後、検討課題としていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	95.2%	4.8%	0%	0%	子どもに対しては行っていない。	苦情解決の体制について、子どもや保護者に丁寧な説明を心がけていきます。また、事業所が提供したサービス等に対するご意見については、迅速な対応を心がけていきます。今後も、子どもの意思の尊重、最善の利益を優先考慮した支援の提供に努めていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も、伝達方法の工夫をしながら、保護者にとってわかりやすく、丁寧な説明を心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	61.9%	28.6%	0%	9.5%		今後も、定期的な通信（年2回程度）や、ホームページやSNS等を活用し、事業所からの情報発信をしています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		今後も、個人情報保護の徹底に努めていきます。利用開始時には、重要事項として、個人情報保護について丁寧に説明をしていきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90.5%	0%	0%	9.5%	避難経路は見に行ったが、それ以外はわからない。	法律で定められた各種マニュアルを策定しております。保護者に対しては利用開始時に重要事項として説明をしておりますが、掲示場所等について周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	90.5%	0%	4.8%	4.8%		避難訓練については、年間計画に基づき定期的に実施しています。個別療育時に、避難経路や避難場所について周知していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95.2%	0%	0%	4.8%		今後も、安全を確保するための計画に沿って、子どもの安全を第一に支援を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	85.7%	4.8%	0%	9.5%	そういった事例はないが、多分連絡をくれると思うので。	保護者同席の療育時に事故等が発生した場合でも、保護者と速やかに情報共有し、必要な対応について事業所内他部署とも連携をしながら丁寧に対応を行えるようにします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95.2%	0%	0%	4.8%	本人が、PALに行くのを本当に楽しみにしている。	今後も、子どもたちが安全に楽しく、保護者にとっても安心して通える事業所になるように、療育内容や環境調整をしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	81%	14.3%	0%	4.8%	プログラムで「気持ち」を問われることが増えた為、通所後「疲れた」と言うことが増えた。ただ、PALの活動を通して「気持ち」に向き合っで欲しいのが保護者の希望なので、子どもの希望（単純に楽しみたい）とはズレがあるため、仕方ないと思っています。	今後も、子どもたちが楽しく達成感を感じられ、保護者にとっても安心して通える事業所になるように、職員の支援の質の向上に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		今後も、子どもや保護者のニーズにそった、適切な支援が提供できるように努めていきます。